

※ 神山の雨乞い(干ばつの時のみなど不定期)

(三木町)

■ 問い合わせ 三木町社会教育課087-898-1111



三木町神山の高仙神社は雨乞いの神様としても知られ、地元の人々が集まり火をたいて雨乞いをします。

昔は、田植えの後の楽しみのひとつでしたが、現在では干ばつの時にだけ行われています。

県下には雨乞い踊りのほかにもこうした雨乞い行事が多くありました。たとえば「おこもり」とは、氏神さんや竜王さんにもって何日も雨を祈る行事です。「もらい水」とは雨乞いに御利益がある社や淵などの水をもらってきて、神前に供えたり、池や淵に入れ、その御利益にあやかろうとするものです。

また、水神や竜神が棲むと言われる淵や池に不浄物を捨てるなどして、竜神さんを怒らせて雨を降らす方法等さまざまにあり、こうした雨乞いで降った雨は「ワタクシアメ(私雨)」と呼ばれています。